

クレヨンハウス

落合恵子さん



凹んだって
へっちやら!

20~30代必見講演会

へこたれない 女の生き方指南

すべての女性と子どもに勇気と元気を与えてくれる「クレヨンハウス」を主宰している落合恵子さん。すばらしい音楽とともにココロにじ〜ん♪とくるお話と落合さん流のステキに生きるコツを教わります。「エセナおおた」イキオシの講演会です。

2007年
3月4日(日)
13:30~15:30



入場無料
申込先着160人
🐾保育つき🐾

会場
エセナおおた

〒143-0016 大田区大森北 4-16-4
☎/03-3766-4586
FAX/03-5764-0604

申込は2月21日(水)よりE-Mail・FAXで!

2月21日以前のお申込は受け付けできませんのでご了承ください。

✉ escena@escenaota.jp FAX03-5764-0604

すぐに定員に達する恐れがありますので、お早めにお申し込みください。

主催：大田区立男女平等推進センター「エセナおおた」

共催：大田区

この事業はNPO法人男女共同参画おおたが大田区の補助を受けて実施しています。

講師 落合恵子さんプロフィール(クレヨンハウスのHPより抜粋)



作家。アナウンサーを経て、作家生活に入る。執筆活動だけでなく、東京・青山と大阪・江坂に、子どもの本の専門店「クレヨンハウス」と女性の本の専門店「ミズ・クレヨンハウス」を主宰。文化を明るく拓いていく、ひとつの方法と捉えているからである。その一環として、子どもから文化と教育を考える『月刊子ども論』、育児と育自を考える『月刊クーヨン』の発行人となる。たくさんのひとと「楽しく考える」をモットーに、子どもや女性、高齢者、障害のあるひとたちの声を、あらゆる角度から追及している。最近のもうひとつの関心事は、「食べること」である。1992年には、東京・大阪のクレヨンハウスに、自然食・有機栽培農産物・無添加食品の店「野菜市場」と、自然食レストラン「HOME」と「広場」を開設した。書くだけでなく、行動する作家として、活動したいと考えている。

【主な著書】

- 『だんだん「自分」になっていく』(講談社)
- 『こころの居場所』(日本看護協会)『メノポーズ革命』(文化出版局)
- 『人生案内 -自分を育てる悩み方-』(岩波書店) ●『ぼくはぼくでいい』(文藝春秋)

会 場：大田区立男女平等推進センター「エセ+おおた」

〒143-0016 大田区大森北 4-16-4 (JR大森駅から徒歩8分)

保 育：1歳以上未就学のお子さんを15人まで講演中にお預かりします。

保育料はひとり500円です。*保育は「保育ネットワーク“Bear”」の保育者です。

参加費 無料

定 員 申込先着順 160名

申込方法

E-Mail または F A X に①「落合恵子さん講演会」
②〒住所③名前(ふりがな)④年齢⑤電話番号⑥保育希望の場合は保育カードを送付しますのでお子さんの名前、年齢、F A X 番号をご記入ください。
なおお送りいただいた情報は今後の講座案内などの目的以外には使用いたしません

申込先

E-Mail : escena@escenaota.jp
F A X : 03-5764-0604

申込締め切り

160人に達した時点で締め切ります。

主催・問合せ先

〒143-0016 大田区大森北4-16-4
大田区立男女平等推進センター「エセ+おおた」
電話 03-3766-4586
FAX 03-5764-0604

共催 大田区



*印…案内標識
●JR大森駅から徒歩8分。駐車場はありません。